

プレゼンルーム	ホール7B会場	ホール7B会場	ホール7B会場	ホール7B会場	ホール7B会場	ホール7B会場	ホール7B会場
案件NO	13-113-S0008	13-113-S0009	13-113-S0010	13-113-S0011	13-113-S0012	13-113-S0013	13-113-S0014
案件名	建設設備工事会社の新規事業進出支援	レトルトカレーの開発	K商店街支援	金型製作・金属プレス加工業の再生支援	製造業の採算確認(原価管理)・販売力強化と事業計画策定	システム改善による営業情報活用	3本の事業の相乗効果を発揮する中長期成長戦略の策定
企業名	S株式会社	O社	K商店街振興組合	株式会社M工業所	有限会社K工業	株式会社E	Tコンサルティング株式会社
業種(大分類)	08.設備工事業	09.食料品製造業	95.その他のサービス業	24.金属製品製造業	24.金属製品製造業	91.職業紹介・労働者派遣業	91.職業紹介・労働者派遣業
業種(少分類)	電気通信・信号装置工事業	その他の食料品製造業	他に分類されないサービス業	金属素形材製品製造業	その他の金属製品製造業	労働者派遣業	労働者派遣業
企業規模	売上高1億9千万円(平成24年7期)資本金1,000万円(平成24年7期)従業員15名	売上高3000万円従業員6人	加盟店数20店	売上高300百万円資本金30百万円従業員数26名	売上高60百万円資本金3百万円従業員数7名	428百万円(平成24年3月期)1,200万円25名	売上高170百万円資本金8百万円従業員数21名
所在地	東京都福生市	埼玉県本庄市	横浜市中区	葛飾区	東京都足立区	東京都中央区	東京都中央区
診断テーマ	1)新規事業の販路拡大策および組織体制強化策の提案 2)経営革新計画の策定	レトルトカレーの開発(ご当地)	活性化支援案の検討	金型製作・金属プレス加工業の再生支援	①製品別の採算管理の精密化とそれに伴う営業活動の検討 ②将来の事業展開を勘案した経営計画の大枠の作成	情報システム構築による営業情報の効率的活用支援	中国、日本の事業・競争環境の変化に対応する中長期成長戦略を描く。
診断企業の特徴	1)これまでは、大手通信会社から設備工事を下請受注。 2)既存部門の受注が減少しつつある中、新たに省エネ・節電システム部門を立ち上げ、鋭意取り組んでいるところ。	農産物の自家生産から商品開発	横浜でも有名な繁華街である	金属プレス加工業と金型製作に強みを持つ企業であるが、主要取引先の工場の海外移転に伴い売上が減少。新規取引先開拓及び新製品開発に取り組んでいる。	①自動車部品となる金属製品のプレス加工 ②自民党総裁選の折に訪問した地元名士の企業	エネルギー保安技術のコンサルティング及び技術者派遣のシニアベンチャー企業。価格競争を避け専門技術系業務に特化している。	人材派遣事業を中心に中国進出コンサルティング事業、日本向けオフショア開発事業の3事業の相乗効果を発揮して成長してきた。
企業側の診断メリット	1)ノウハウの蓄積がない営業販売面を補強できる。 2)社内における組織体制の強化およびモチベーションアップ。	新商品開発のヒントがえられる	再開構想の参考資料になる	現在の取り組みの是非や課題が浮き彫りになる。そのことにより、今後の方針が明確になる。	複数の中小企業診断士による様々な対応策・工夫の活用が可能となること。	営業効率化に向けて組織強化と情報システム改善を進めている。IT化企画及び営業情報活用方法について明確にすることができる。	国内外の事業環境の変化に対応する、岡目八目で見る経営診断と成長戦略を得ることができる。
参加者のメリット	1)新規事業進出支援に関する具体的な診断手法を習得できる。 2)経営革新計画の作成ノウハウを習得できる。	1・新商品開発の技法の修得 2・経営者との接触機会が設定でき、経営者視点での診断経験が獲得できる	1・地域起こしの技法の修得 2・経営者との接触機会が設定でき、経営者視点での診断経験が獲得できる	製造業の再生支援における、主として現状分析と課題抽出が習得できる。	懸命に取り組む中小製造業の現実的ないくつかの課題への支援を経験し、そのノウハウを習得することで、個人が実践的なコンサルティング力を養うことができます。	経営者の思いや経営の現状を知ることにより、企業の実情に合った情報管理方法、ITによる経営課題解決ノウハウの習得ができる。	3つの事業の3年余の実績を踏まえて、経営者が事業環境の変化をどのようにとらえ成長しようとしているか、悩みと成長への希望・期待を実感することができる。
指導員	吉田 勉	山下 義	山下 義	宇野俊郎	兼松 万輝雄	足立 秀夫	倉辺喜一郎
副指導員			松井淳、池田安弘		大友 裕介	中峰 博史	なし
診断日程	5月12日(日)に開始、以降5月中旬から6月上旬の土日を中心に調整する予定。企業ヒアリング・報告会は平日午後を予定。	5、6月土日中心に(作業は都内、4月中に打ち合わせが出来れば)	5、6月土日中心に(作業は都内、4月中に打ち合わせが出来れば)	5月6日(祝月)、11日(土)、12日(日)、19日(土)、25日(土)、6月1日(土)	6月1日(土)、6月8日(土)、その後は土曜日を基本に調整予定。	5月11日(土)～7月13日(日)、その間は土・日曜中心に実施	診断初日を5/9(木)18-21訪問前合議、5/10(金)18-21経営者ヒアリング、合わせて1日相当とみなす。途中は、5/12(日)、5/25(土)、6/2(日)、6/30(日)を当て、最終日は7/4(木)18-21報告会とする。
診断日数	6日間	6日間	6日間	6日間	6日間	6日間	6日間
募集人員	6人	6人	10人	6人	6人	6人	6人
募集期間	2013年4月30日(火)まで(定員満了次第締め切り)	2013年4月30日(火)まで(定員満了次第締め切り)	2013年4月30日(火)まで(定員満了次第締め切り)	2013年4月30日(火)まで(定員満了次第締め切り)	2013年4月30日(火)まで(定員満了次第締め切り)		2013年4月30日(火)まで(定員満了次第締め切り)
問い合わせ先	吉田 勉	山下 義	山下 義	宇野俊郎	大友 裕介	足立 秀夫	倉辺 喜一郎
アドレス	tsutomu@yoshida.nifty.jp	tdyama@sc4.so-net.ne.jp	tdyama@sc4.so-net.ne.jp	toshiro.uno@xone-consulting.co.jp	otmusk@gmail.com	h-adachi@246.ne.jp	kurabe@mtc.biglobe.ne.jp